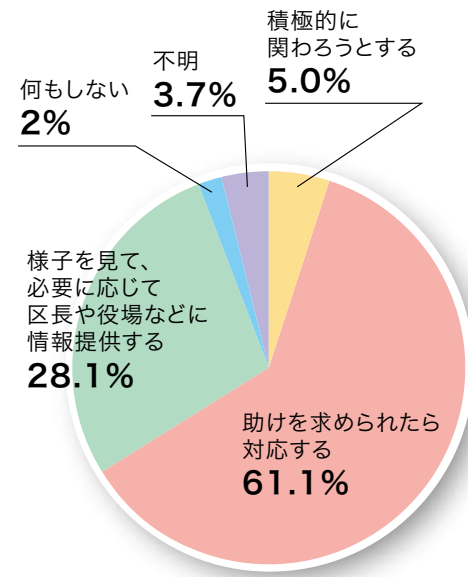


コラム 福祉は「助けられ上手」から!!

右のグラフは昨年行ったアンケート調査の結果です。「困っている人を見かけたらどうしたいか?」の質問に対し、困った人が「助けて!」と言えば、実に6割強の宝達志水町民が答えてくれるということになります。

みなさんは困った時に「助けて」と言えますか??

地域においてお互い様で助け合うための第一歩として、まずは自分の助けられ上手度をチェックしてみましょう。



- Q1 いただいた善意は断らないようにしている
- Q2 「すみません」ではなく、「ありがとう」と言うようにしている
- Q3 自宅に人を招き入れるのに抵抗はない
- Q4 認知症になっても「私は認知症だ」と誰にでも言える
- Q5 「助けて」と言える相手を1人は確保してある
- Q6 自分なりのSOSの発信法を持っている
- Q7 助けてくれそうな世話焼きさんを見つけてある
- Q8 普段から人に尽くしている
- Q9 助け合いのグループに入っている
- Q10 グループで助け合いを仕掛けている



あなたはいくつチェックできたでしょうか?

さあ、助けられ上手さんを目指しましょう!!

※上記チェックリストは住民流福祉総合研究所『自助の手帳』より

宝達志水町地域福祉活動計画 概要版

発行：社会福祉法人宝達志水町社会福祉協議会
〒929-1311 石川県羽咋郡宝達志水町門前サ11番地
電話 0767-28-5520 / FAX 0767-28-3112

お互い様で 助け合える
あったかいまち

宝達志水町 概要版 地域福祉活動計画

(平成27年度～平成31年度)



宝達志水町地域福祉活動計画とは

この計画は、宝達志水町が策定した「地域福祉計画」と相互に連携を図りながら、住民が主体となり、地域の福祉活動に取り組む人たちや、福祉関係団体・事業者・行政などが協力して地域福祉をどのように進めていくかをまとめた民間の活動・行動計画です。

宝達志水町地域福祉活動計画の詳細は、宝達志水町社会福祉協議会ホームページで閲覧できます。

<http://www.houshi-shakyo.or.jp/>

これからどんな時代になるの???

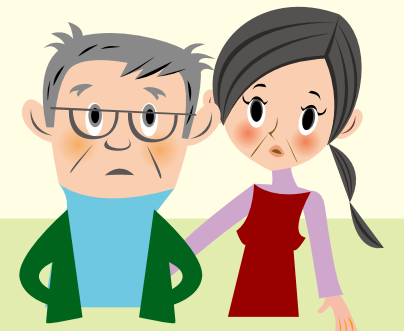


計画策定の背景

2015年では13,984人の宝達志水町の人口は、10年後の2025年には11,856人(△2,128人)にまで減少すると予想されています。また、2025年の高齢化率の推計は39.4%、つまり5人に2人が高齢者となる時代がくることになります。

10年後も安心して宝達志水町で暮らすためにも、私たち地域住民は、みんなで助け合える地域をつくらなくてはなりません。

何のための計画なの???

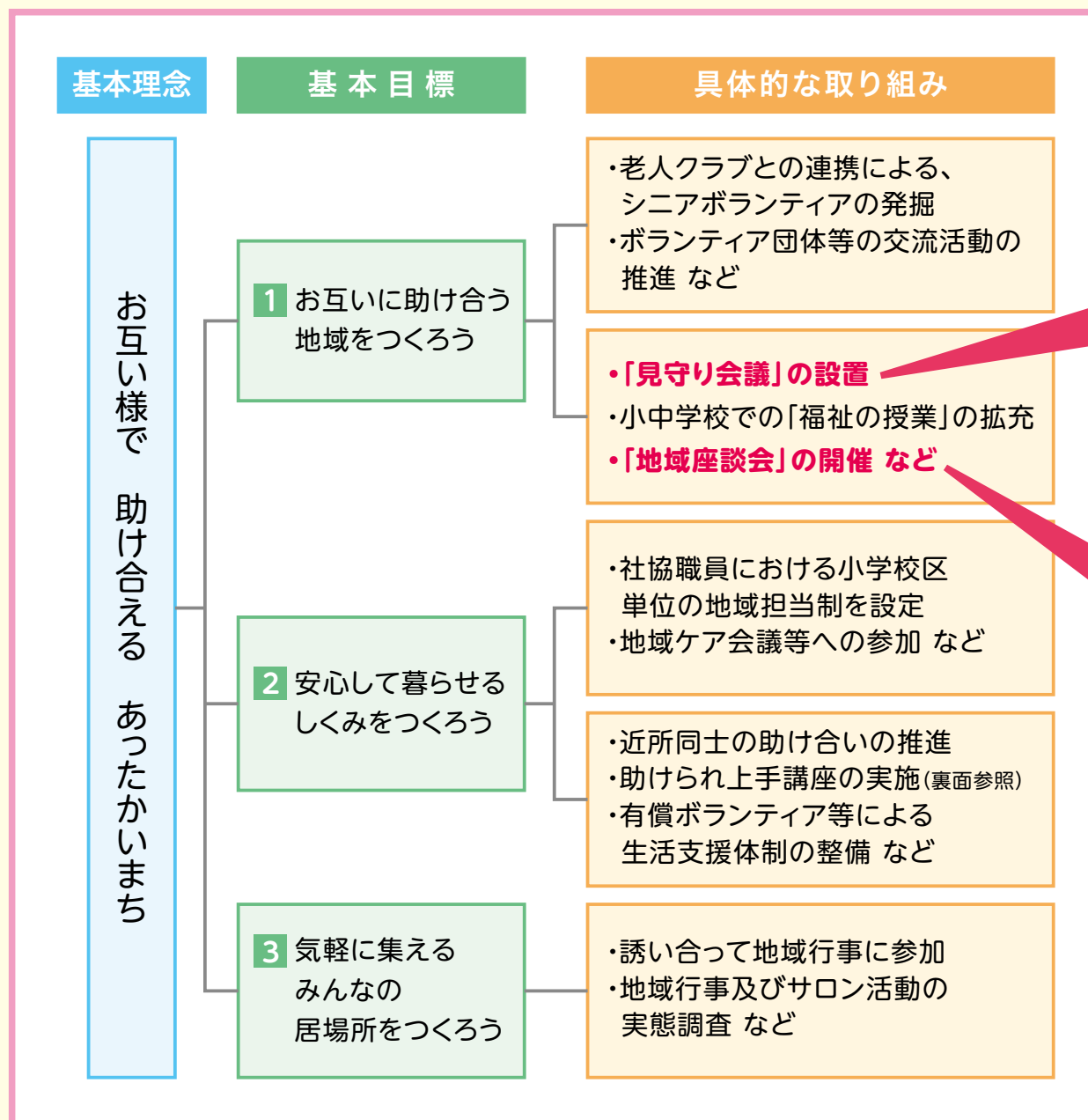


計画の目的

人は誰でも病気になったり介護が必要になったり、子育てに悩んだりするなど日頃の生活の中で、手助けが必要になる時があります。

そんな時に、町や専門機関と地域住民や民生委員・児童委員、ボランティアなど地域に関わるすべてのものが協働して、支援を必要としている人を支えていく「地域福祉」のしくみづくりが求められており、このしくみづくりを計画的に進めていくことを目的に「地域福祉活動計画」を策定しました。

地域福祉活動計画の体系図



※地域福祉活動計画の中には、上記事業の他にも合わせて23項目の取り組みがあります。

注目! みなさんの声から生まれた新たな取り組みです!



「見守り会議」の設置の推進

区長、民生委員など、集落で地域福祉の核となる方々が、普段の活動において「気にかかる方」の情報を共有し、課題解決に向けて話し合う場、「見守り会議」を設置します。また、必要に応じ、行政など専門職にも参加いただき、共に課題解決の方法を検討します。



地域座談会の開催 (基本的には集落単位で開催)

区長さん、民生委員さんだけでなく、子育て中のママや課題を抱えた当事者の方、青年団、ボランティアなど幅広い層の区民が集まり、自分の集落に存在するさまざまな福祉課題を話し合います。

これからは、隣近所はもちろん、地域社会と行政機関が協力して共に助け合うことが極めて重要だと思います。

アンケートより
30代男性



高齢者も定期的に訪問することが一番安心できると思うが、民生委員の仕事は大変なので、負担を軽くしてほしい。

アンケートより
40代女性



集落の人々と顔を見ながらコミュニケーションをとることで、自分の知らないことや気が付かなかったことを再発見できると思います。

アンケートより
60代女性



なかなか隣近所との接点がなく、積極的に協力できないのが現状。社協や役場で住民同士の話し合いの場を提供してほしい。

アンケートより
30代男性

